

バイオセラピー学特別実験・実習・演習 (10 単位)

担当者氏名 小川 博・佐々木剛・松林尚志・増田宏司・宮本 太・御影雅幸・三井裕樹・小池安比古・太田光明・浅野房代

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオセラピー学における各専門分野の課題について、解決の手順、方法等を考案、農学とその関連領域において用いられる手法を習得し、調査・研究を行って得られた結果を基に修士論文を作成する。これら一連の過程により、論理的な思考能力、研究能力および問題解決能力等を養うことを目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

バイオセラピー学 人間動物関係学 人間植物関係学 動物介在活動
植物介在療法

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	本実験・実習・演習の進め方について	◎課題の設定、研究の進め方や論文提出までの流れを学ぶため、バイオセラピー学における各専修の位置づけを理解しておく◎具体的な研究テーマの設定、研究手法、統計学を考慮した調査、実験等の事例収集を行っておく◎得られたデータの整理、統計処理による解析、解析結果の整理ととりまとめ、論文構成の検討、論文執筆と校正を行っておく
2	研究課題	課題の選定	
3	研究目的	研究の背景、先行研究等の情報収集	
4	研究目的	研究の目的と意義の検討	
5	研究手法	研究手法の検討	
6	研究計画	実験、調査等の具体的内容の検討	
7	研究計画	研究計画発表会	
8	研究手法	実験・調査手法の習得	
9	データの解析法	データの統計学的解析方法の検討	
10	データの収集	実験・調査の実施	
11	データ処理	統計学的手法によるデータの解析	
12	結果のまとめ	結果の図表化	
13	考察	文献調査、結果の考察	
14	論文作成	修士論文の執筆	
15	研究発表	研究発表の方法を学ぶ	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
 その都度指示する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
 バイオセラピー学入門/講談社 (2012)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

研究成果および研究成果発表会の内容

◆オフィスアワー

昼休み (12:30~13:00)

◆その他受講上の注意事項

教員の指導と指導に対する対応等の記録を月報として提出し、承認を受けること。